

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月14日

上場会社名 杉田エース株式会社

上場取引所 大

コード番号 7635 URL <http://www.sugita-ace.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 直良

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートスタッフ部門長 (氏名) 横井 雅彦

TEL 03-3633-5150

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,946	12.3	△22	—	25	—	9	—
23年3月期第2四半期	15,984	△5.4	△206	—	△189	—	△66	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1.70	—
23年3月期第2四半期	△12.38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	19,068	6,112	32.1	1,138.79
23年3月期	21,543	6,162	28.6	1,147.97

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,112百万円 23年3月期 6,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	6.3	295	13.0	372	18.1	188	△39.9	35.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	5,374,000 株	23年3月期	5,374,000 株
24年3月期2Q	6,889 株	23年3月期	5,911 株
24年3月期2Q	5,367,298 株	23年3月期2Q	5,368,394 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年8月10日に発表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月7日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。
2. 上記の資料及び本資料に記載されている業績見通し等の記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの立て直しにより、生産・個人消費に持ち直しの動きが見られましたものの、企業収益・雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みが見られ、欧州経済の信用不安・米国経済の回復懸念に端を発する急激な円高や株価低迷など、依然、先行き不透明な状況が続いております。

住宅建築関連業界におきましては、大震災の影響が落ち着きつつあることから、持家・貸家・分譲住宅の着工にはいずれも持ち直しの動きが見られましたが、設備投資、公共投資は総じて低調に推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期累計期間における売上高は、179億46百万円（前年同期比12.3%増）となり、売上総利益は、売上高の増加に伴い前年同期より3億1百万円増加し、26億52百万円となりました。

営業損益は、展示会エスタ関連費用が85百万円、給料及び手当が53百万円、東日本大震災関連の寄付金31百万円、売上高増加に伴う荷造運搬費が18百万円等、それぞれ増加し、貸倒引当金戻入を82百万円計上したため、販売費及び一般管理費が前年同期より1億17百万円増加し、22百万円の営業損失（前年同期より1億84百万円の改善）となりました。

経常利益は、営業外費用の投資事業組合運用損が前年同期より31百万円減少し、25百万円（前年同期より2億14百万円の改善）となりました。

当期純利益は、前年同期において特別利益に計上した保険解約返戻金1億13百万円が、当第2四半期累計期間で発生しなかったため、9百万円の四半期純利益（前年同期より75百万円の改善）となり、1株当たり四半期純利益は1円70銭となりました。

当第2四半期累計期間におけるセグメント別の商品区分別売上高は、次のとおりであります。

商品区分	ルート事業	建材事業	D I Y 事業	計	構成比
住宅用資材（千円）	6,335,324	1,080,381	—	7,415,705	41.3%
ビル用資材（千円）	6,275,544	1,345,755	—	7,621,300	42.5%
D I Y 商品（千円）	—	—	1,574,321	1,574,321	8.8%
O E M 関連資材（千円）	—	725,327	—	725,327	4.0%
その他（千円）	386,571	223,595	—	610,167	3.4%
合計（千円）	12,997,439	3,375,059	1,574,321	17,946,820	100.0%

① ルート事業（住宅用資材・ビル用資材・その他）

住宅用資材は、前年同期比で建具商品が5.2%増、マンション住宅商品が11.8%増、インテリア商品が22.7%増、建設副資材が7.8%増となり、売上高は5億77百万円増加の63億35百万円（前年同期比10.0%増）と好調に推移しました。

ビル用資材は、前年同期比でビル用商品が10.0%増、福祉商品が16.6%増、景観商品が1.7%減となり、売上高は4億48百万円増加の62億75百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

この結果、ルート事業全体の売上高は11億5百万円増加の129億97百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

② 建材事業（住宅用資材・ビル用資材・O E M 関連資材・その他）

住宅用資材は、前年同期比で建具商品が22.8%増、マンション住宅商品が5.3%増、インテリア商品が28.5%増、建設副資材が60.9%増となり、売上高は1億56百万円増加の10億80百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

ビル用資材は、前年同期比でビル用商品が19.3%増、福祉商品が0.3%減、景観商品が24.9%増となり、売上高は2億8百万円増加の13億45百万円（前年同期比18.4%増）と好調に推移しました。

O E M 関連資材は、住宅エコポイントや節電等を背景に戸建て住宅リフォーム向け二重サッシが大幅に増産されたことにより、その部品供給が大きく伸長したこと等により前年同期比14.2%増加の7億25百万円となりました。

この結果、建材事業全体の売上高は5億5百万円増加の33億75百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

③ D I Y 事業（D I Y 商品）

東日本大震災に伴う一般消費者の生活安心用品や節電対策商品などへの関心が高まったことにより、定番商品として供給している地震対策関連商品や、盛夏商材である網戸等の需要が拡大しました。また、プロ志向店等の新店及び改装による定番商品の導入拡大も順調に推移しました。

この結果、D I Y 事業の売上高は3億52百万円増加の15億74百万円（前年同期比28.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報**①資産、負債及び純資産の状況****(資産)**

当第2四半期会計期間末における資産合計は190億68百万円となり、前事業年度末より24億75百万円減少いたしました。これは、主に流動資産のうち受取手形及び売掛金が22億45百万円、未収入金が2億35百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は129億56百万円となり、前事業年度末より24億25百万円減少いたしました。これは、主に流動負債のうち支払手形及び買掛金が23億53百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は61億12百万円となり、前事業年度末より50百万円減少いたしました。これは、剰余金処分による株主配当金の支払37百万円、当第2四半期純利益9百万円及びその他有価証券評価差額金の減少21百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末より3.5ポイント増加し、32.1%となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末より1億2百万円増加し、13億93百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億38百万円（前年同期比4.4%減少）となりました。これは主に、売上債権の減少額23億8百万円、減価償却費94百万円、税引前四半期純利益22百万円、未収入金の減少額等によるその他2億74百万円等の資金増加に対し、仕入債務の減少額23億53百万円、貸倒引当金の減少額82百万円、法人税等の支払額14百万円等の資金減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、94百万円（前年同期は1億66百万円の獲得）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入51百万円の資金増加に対し、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出1億34百万円等の資金減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、40百万円（前年同期比85.8%減少）となりました。これは、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出2億2百万円、配当金の支払額37百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年8月10日に発表しました平成24年3月期通期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成23年11月7日付で開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項**(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報**(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)**

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,062	1,623,034
受取手形及び売掛金	12,065,814	9,820,590
商品	1,391,460	1,432,346
未成工事支出金	224,491	195,190
未収入金	1,527,397	1,291,536
その他	22,546	37,615
貸倒引当金	△62,000	△22,000
流動資産合計	16,689,772	14,378,314
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,263,307	1,237,791
土地	1,946,253	1,946,253
その他（純額）	318,477	398,123
有形固定資産合計	3,528,038	3,582,168
無形固定資産		
ソフトウェア	74,145	68,243
その他	9,245	9,234
無形固定資産合計	83,390	77,477
投資その他の資産		
投資有価証券	590,125	527,675
破産更生債権等	288,624	215,375
その他	614,608	485,632
貸倒引当金	△250,967	△198,494
投資その他の資産合計	1,242,391	1,030,189
固定資産合計	4,853,820	4,689,836
資産合計	21,543,593	19,068,151

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,946,248	10,593,074
1年内返済予定の長期借入金	353,242	355,054
未払法人税等	23,737	20,516
役員賞与引当金	24,000	12,000
その他	657,053	585,889
流動負債合計	14,004,281	11,566,534
固定負債		
長期借入金	579,210	574,430
退職給付引当金	364,915	368,988
役員退職慰労引当金	353,253	361,203
その他	79,519	84,989
固定負債合計	1,376,899	1,389,611
負債合計	15,381,180	12,956,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	697,240	697,240
資本剰余金	409,450	409,450
利益剰余金	5,093,643	5,065,213
自己株式	△2,729	△3,141
株主資本合計	6,197,603	6,168,762
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△35,191	△56,757
評価・換算差額等合計	△35,191	△56,757
純資産合計	6,162,412	6,112,004
負債純資産合計	21,543,593	19,068,151

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	15,984,021	17,946,820
売上原価	13,632,968	15,294,114
売上総利益	2,351,052	2,652,705
販売費及び一般管理費	2,557,561	2,674,924
営業損失(△)	△206,509	△22,218
営業外収益		
受取利息	2,253	1,809
受取配当金	3,105	3,337
仕入割引	37,497	42,782
雑収入	28,997	17,525
営業外収益合計	71,854	65,455
営業外費用		
支払利息	13,352	9,885
投資事業組合運用損	31,805	293
手形売却損	7,932	6,930
雑損失	1,376	408
営業外費用合計	54,466	17,518
経常利益又は経常損失(△)	△189,121	25,718
特別利益		
貸倒引当金戻入額	23,373	—
保険解約返戻金	113,003	—
特別利益合計	136,377	—
特別損失		
固定資産除却損	741	3,300
特別損失合計	741	3,300
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△53,484	22,418
法人税、住民税及び事業税	13,432	13,721
法人税等調整額	△470	△449
法人税等合計	12,962	13,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66,446	9,147

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△53,484	22,418
減価償却費	106,901	94,121
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,199	4,072
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22,456	△82,840
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△12,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△48,546	7,950
受取利息及び受取配当金	△5,359	△5,147
支払利息	13,352	9,885
保険解約損益 (△は益)	△113,003	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,670
固定資産除却損	741	3,300
売上債権の増減額 (△は増加)	2,207,638	2,308,841
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△18,836	△11,584
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,917,984	△2,353,174
その他	111,384	274,296
小計	272,545	258,469
利息及び配当金の受取額	5,346	5,112
利息の支払額	△13,044	△9,785
法人税等の支払額	△14,917	△14,928
営業活動によるキャッシュ・フロー	249,930	238,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93,067	△126,471
無形固定資産の取得による支出	△20,661	△8,251
投資有価証券の取得による支出	△3,323	△8,935
投資有価証券の売却による収入	—	51,770
保険積立金の払戻による収入	287,239	—
貸付けによる支出	△6,100	△200
貸付金の回収による収入	3,360	3,520
その他	△1,005	△6,371
投資活動によるキャッシュ・フロー	166,441	△94,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△266,898	△202,968
自己株式の取得による支出	△384	△411
配当金の支払額	△21,476	△37,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,758	△40,956
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127,613	102,972
現金及び現金同等物の期首残高	1,179,963	1,290,062
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,307,577	1,393,034

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(千円)			合計(千円)
	ルート事業	建材事業	D I Y事業	
売上高				
外部顧客への売上高	11,892,227	2,869,988	1,221,804	15,984,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,892,227	2,869,988	1,221,804	15,984,021
セグメント利益	193,596	12,536	42,025	248,157

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	248,157
全社費用(注)	△454,666
四半期損益計算書の営業損失(△)	△206,509

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント(千円)			合計(千円)
	ルート事業	建材事業	D I Y事業	
売上高				
外部顧客への売上高	12,997,439	3,375,059	1,574,321	17,946,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	12,997,439	3,375,059	1,574,321	17,946,820
セグメント利益	332,019	72,565	82,634	487,219

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	487,219
全社費用(注)	△509,437
四半期損益計算書の営業損失(△)	△22,218

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。